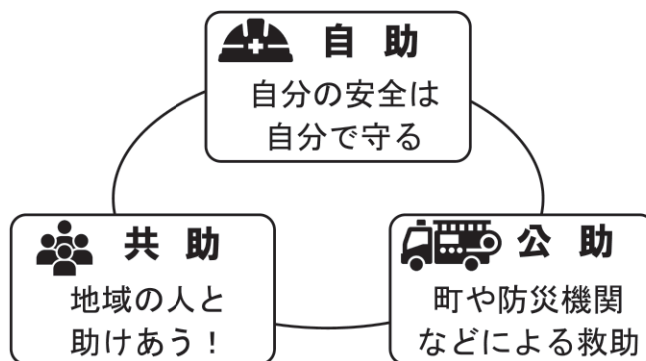


災害は突然起こるもの・・・被害を最小限に抑えるためには？

災害による被害を減らすには、日頃からの備え（自助）と地域での助け合い（共助）が欠かせません。過去の震災では、近所の人や地域の助け合いで助かったという事例が多くあり、阪神・淡路大震災の人命救助の約6割は「共助」によるものでした。

① どうして「共助」が重要なのか？

被災した人の救助は災害発生から72時間以内に行うことで、生存率を高めることができると言われています。町では、災害の発生からできるだけ早く災害対応が行えるように備えていますが、円滑に被災者を救助するためには、共助との連携が重要となります。公助と共助が互いにカバーしあうことで、地域の被害を最小限に抑えることが可能となります。




② 「共助」って具体的に何をすればいいの？

1 日頃から取り組むこと

日頃から住民同士でコミュニケーションをとり、災害時の行動などを情報共有しましょう。自治会へ加入することや、町のイベントへ参加することで、ご近所と知り合うきっかけとなります。

2 災害発生時に行うこと

限られた時間内に、救助隊の到着を待たずに被災者を救うことができるのは、その場に居合わせた住民です。お互いに安否確認をし、高齢者や足が不自由な人がいる場合は、避難支援を行いましょう。また、自らの安全を確保したうえで、初期消火活動や被災者の救助などを協力して行いましょう。

 地域の人と人のつながりこそが、最大の防災力になります。地域のつながりを強化し、災害に強い地域づくりに取り組んでいきましょう。

真鶴町お知らせメールへのご登録を！

町から災害時の情報伝達や防犯情報、防災行政無線の放送内容、新型コロナウイルス感染症に関する情報などを、ご希望の電子メールアドレスへ配信するサービスをしています。本サービスをご利用いただくためには、メールマガジンへの登録が必要です。

※登録方法が不明な場合などは総務防災課にお問い合わせください。

▼真鶴町お知らせメールへのご登録は、下のQRコードよりお進みください▼

PC・スマートフォンの場合



フィーチャーフォン(ガラケー)の場合



※読み取れない場合は、下記アドレスに空メールを送信してください。

t-manazuru@sg-p.jp

☐問い合わせ 総務防災課 ☎内線323